

施策番号	2205		
施策名	市民とともに推進する景観まちづくり		
概要	あらゆる主体が参加，協働し，主体性をもって，地域の特性に応じた景観づくりに取り組むため，地域での景観づくりで中心的な役割を担う人材育成をはじめ，多様なひとびとの地域への思いや絆を生かした景観づくりの取組を推進していく。		
担当局・部室	都市計画局・都市景観部	共管局・部室	
上位政策	22 景観		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市景観計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		27年度	28年度	29年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	景観づくりに取り組む地域数(件)	d	c	7	9	10	90.0%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		d	c	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度	28年度	29年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。	b	b	130 27.5%	209 44.2%	96 20.3%	27 5.7%	11 2.3%	473
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	b	市民生活実感調査総合評価					a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					28年度	C
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 地域の特性に応じた景観は、地域独自の景観に関する活動の中で徐々に形成されていくものであることから、客観指標を重視した。						27年度	C
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	景観形成推進事業	31,203	33,596	良い	都市計画局
2	宅地開発指導等	176,708	179,632		都市計画局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・市内の景観政策を進化させるためには、景観規制による手法だけでなく、市街地景観整備条例に基づく「地域景観づくり協議会」を活用した住民主体の景観・まちづくりが重要である。
- ・制度を運営するうえでは地域の負担が大きいため、平成28年度から景観法に基づく景観整備機構とも連携し、「地域の特性に応じた住民主体の景観づくりへの支援」として、この制度の普及啓発を図るとともに、各地域への専門家の派遣等を行っており、今後も制度の活用及び地域活動の充実に向けた支援を継続する。

施策名	2205	市民とともに推進する景観まちづくり				
指標名	景観づくりに取り組む地域数（件）					
担当課	景観政策課		連絡先	2 2 2－3 3 9 7		
1 指標の説明						
市街地景観整備条例に基づく地域景観づくり協議会として認定を受けた地域等の数						
2 指標の意味						
景観を観点としたまちづくりの拡がりを示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	7	9	2件増	10	中長期目標を達成するために当年度達成すべき数値	90.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		14	32年度	64.3%	京プラン実施計画 第2ステージ	
5 評価基準						
目標に対する達成度が、 a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満			6 基準説明			
			単年度目標に対する達成度が100%以上の場合をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。			
7 評価結果						
27		28		29		
d		c		b		